

# 結核を減らすために



シールぼうやとシールちゃん

## 下関市の結核の現状



シールぼうや

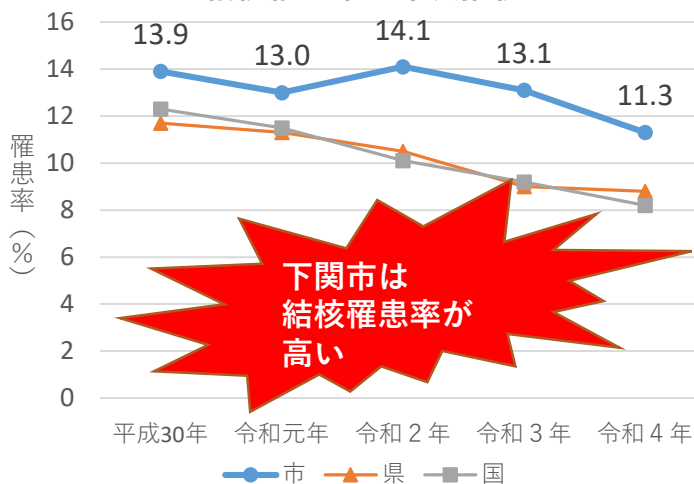
～結核は過去の病ではありません！～

山口県内では年間100人以上、下関市内では年間約40人前後の新規の結核患者が発生しています。下関市における結核罹患率※は減少傾向にはありますが、全国や山口県と比較すると、依然高い状況です。（※新登録結核患者数 ÷ 人口 × 10万）

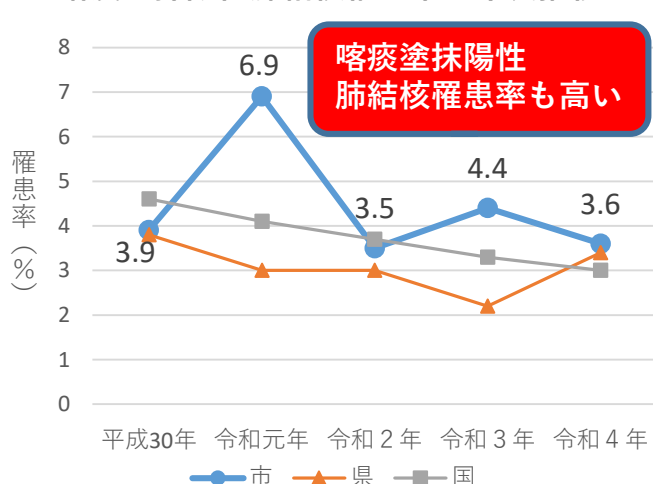
また、喀痰塗抹陽性肺結核罹患率※についても、全国や山口県と比較して、下関市は高い状況にあります。（※喀痰塗抹陽性：喀痰の塗抹染色検査で陽性と判定されたもの = 排菌者）

（※喀痰塗抹陽性肺結核患者 ÷ 人口 × 10万）

### 結核罹患率の年次推移



### 喀痰塗抹陽性肺結核罹患率の年次推移



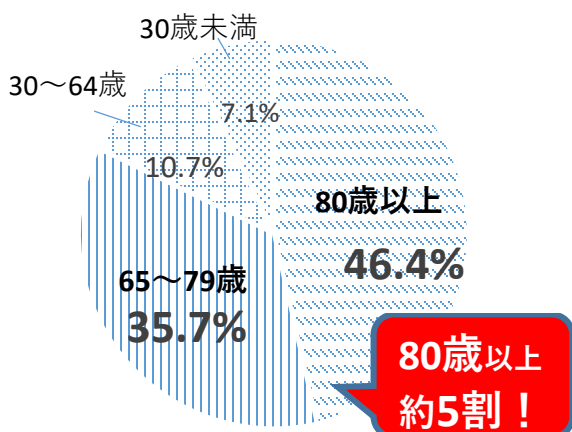
～80歳以上に多い結核！～



下関市で令和4年に発生した結核患者の年齢構成は、65歳以上が8割を占めています。

特に、80歳以上の高齢者が多く、患者の約半数を占めています。

### 新登録結核患者の年齢構成(令和4年)

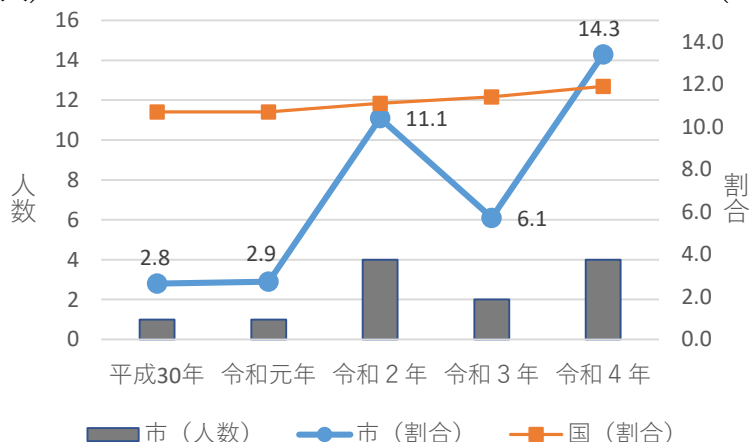


～外国出生者の結核～



新登録結核患者のうち外国出生者の割合は全国的に増加傾向にあり、下関市においても、割合としては増加傾向にあります。20～30歳代の結核患者は、外国出生者が約半数を占めています。罹患率の高い国の出生者が日本滞在中に発症するケースが見受けられます。

### (人) 新登録結核患者に占める外国出生者の年次推移 (割合)





# 医療機関の皆様へお願いしたいこと

シールちゃん

## ～結核は早期発見が大切！！～

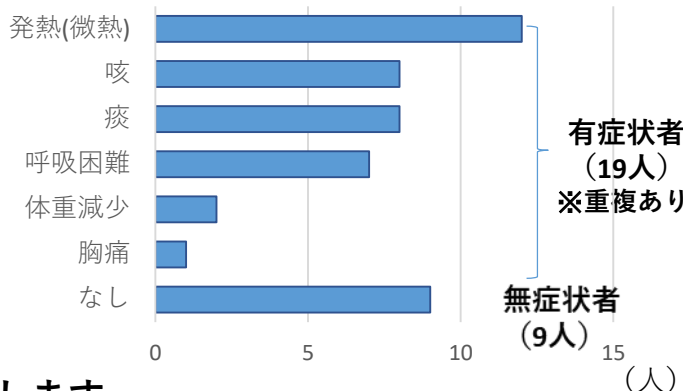
結核は、発見が遅れることで、感染拡大につながる場合があります。早い段階（排菌前）で結核の発病が発見出来れば、人への感染を防ぐことができます。

### ①結核を念頭においた診療をお願い致します。

結核を発病すると、咳や痰、発熱など風邪によく似た症状が出ると言われていますが、下関市においても同様の傾向です。

特に、高齢者では症状がはっきり現れない場合も多く、発見が遅れることもあります。典型的な症状がない場合でも、結核を念頭においた診療をお願い致します。

診断時の症状（令和4年） N=28



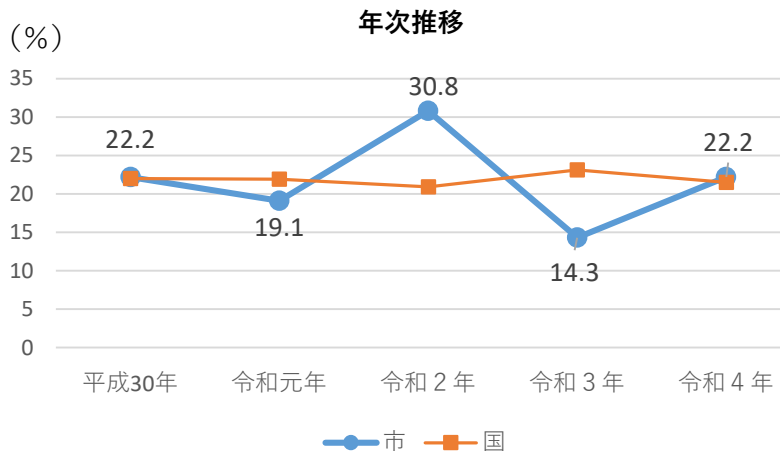
### ②必要に応じて、菌検査の実施をお願い致します。

令和4年に下関市において結核と診断された方の、初診から結核診断までの期間が1か月以上かかっている方の中には、当初肺炎と診断され、結核の菌検査の実施までに1か月以上要している事例がありました。

画像にて肺に病変が見られた際には、結核の可能性も考慮していただき、必要に応じて、菌検査の実施をお願い致します。

また、培養検査にて結核診断に至ったケースもあるため、菌検査を実施した際には、培養検査の実施も併せてお願い致します

初診から診断までの期間が1か月以上の者の割合※の



※新登録肺結核有症状者の「初診から診断までの期間が1か月以上の者の割合」は、結核患者の「診断の遅れ」を示す指標です。

### ③健康診断（胸部X線検査）の受診勧奨をお願い致します。

下関市における令和4年の患者発見状況は、健康診断（胸部X線検査）が全体の約2割を占めており、健康診断（胸部X線検査）の受診も結核患者の発見には大切です。

特に65歳以上の方は、感染症法により、年に1回、結核健康診断を受ける必要があります。胸部X線検査を1年以上実施していない高齢者には、健康診断（胸部X線検査）の受診勧奨をお願い致します。

※下関市では、市内在住の40歳以上の方で、検診を受ける機会のない方のために、胸部健康診断を実施しております。

患者発見方法（令和4年） N=28

